

スピンドル

全日本金属情報機器労働組合
八幡・戸畑・中間・遠賀地域支部
教宣部
2015年 9月号

1、雇用情勢について

厚生労働省が8月28日発表した7月の全国の有効求人倍率（季節調整値）は、0・02ポイント上昇の1・21倍となり、2ヶ月ぶりに改善しました。1992年2月以来、23年5ヶ月ぶりの高水準。正社員だけの有効求人倍率は前月と同じ0・75倍でした。

一方、総務省が同日発表した7月の労働力調査（同）では、完全失業率が前月比0・1ポイント低下の3・3%となり、3ヶ月ぶりに改善しました。

有効求人倍率の改善を受け、厚労省は7月の雇用情勢判断を1年6ヶ月ぶりに引き上げ、「着実に改善が進んでいる」に改めました。地方の求人倍率も改善しており、都道府県別では最高が東京都の1・76倍、最低は埼玉県と沖縄県の0・84倍でした。

有効求人倍率は、求職者1人当りに企業から何件の求人があったかを示す指標。求人数の増加が続く一方、採用増を受けて求職者数は減少しているため、改善傾向が持続しています。

業種別の新規求人数は、少子高齢化で人材不足が続く医療・福祉や、訪日外国人の増加が追い風の宿泊業・飲食サービス業で増えています。

また、総務省によると、失業率低下は、倒産などによる非自発的離職が減っていることが理由。

非自発的離職者は前月比3万人減の61万人で、比較可能な2002年1月以降では最低となりました。

7月の完全失業者数は前月比2万人減の220万人、就業者数は13万人減の6378万人。

働く意思のない人や、病気などで就業できない人を合わせた非労働力人口は8万人増の4470万人。非正規の職員・従業者数は前年同月比17万人増の1956万人でした。

*九州各県と山口県の有効求人倍率

福岡1・14、佐賀0・92、長崎0・97
熊本1・11、大分1・05、宮崎1・04
鹿児島0・86、沖縄0・84、山口1・24

2、安保法案の廃案を求める市民集会

9月6日 14時から小倉の勝山公園で福岡県弁護士会主催の安保法案廃案をもとめる市民集会が行なわれ4000人が集まりました。

この集会にJMIU福岡地本から20人を超える参加で、ハンドマイクを持ち込み、「9条壊すな、憲法守れ」「強行採決絶対反対」「戦争法案憲法違反」とコールしながら小倉駅までデモ行進しました。JMIU福岡地方本部からの参加は八幡戸畑地域支部8人、安川合同支部9人、をはじめTOTO支部、門司小倉地域支部、鉄鋼支部、遠く田川地域支部からでした。

JMIU 八幡戸畑地域支部

安倍副委員長の投稿

「今日は福岡県弁護士会の主催で憲法違反の安保法案の廃案を求める北九州市民集会』（14時開催）が福岡県北九州市小倉北区の勝山公園で行われました。中川五郎さんのライブではじまり国会議員の緒方林太郎さん（民主党衆院議員）、田村貴昭さん（日本共産党衆院議員）、吉川元さん（社会民主党衆院議員）のスピールの紹介と若者、母親、労働者、宗教者、教員など市民の方のスピールを紹介したあと JR 小倉駅前までパレードを行いました。今までにこんなことは、なかったのですが、各皆さんの熱気のこもった訴えを聞いて、目から涙がこぼれそうになりました。それと、これから自分自身ができる範囲で多くの市民の方々に、この法案の危険さを強くアピールしていかなければ、いけないな～と感じましたね。こんなデタラメな法案を廃案にしていこう皆さんと力を合わせて声をあげて行きましょうよ！」